

事業所名		土浦市療育支援センターつくし学園	支援プログラム		作成日	令和 7 年	3 月	1 日
事業所理念			～常にこどもの視点に立ち、こどもの最善の利益を一に考え支援します～ ・障害のあるこどもも本人の最善の利益の保証 ・障害の種別にかかわらず、こども本人の意思を尊重し、こども本人の最善の利益を考慮する ・地域社会への参加・包容(インクルージョン)の推進と合理的配慮 ・家族支援の重視 ・障害のあるこどもの地域社会への参加・包容（インクルージョン）を子育て支援において推進するための後方支援としての専門的役割					
支援方針			・個別支援計画の作成 ・保護者に向けたサービス提供内容のわかりやすい説明 ・利用児と保護者の状況やその置かれた環境に応じた効果的な支援の実施(集団指導・日常生活指導・個別指導・相談及び助言等) ・利用児の心身の特性に応じたサービスの提供					
開所時間			8時30分～17時15分 サービス提供時間8時30分～16時30分 土日祝及び年末年始閉所	送迎実施の有無		あり 市内を送迎バスが運行		
			支 援 内 容					
本人支援	健康・生活	こどもの心身の状況や、日常生活動作（食事・排泄・着替え・歯磨き等）の状況を把握し、こどもが安心して生活できる環境を整えながら、日常生活動作の獲得に必要な支援を行っていきます。健康管理のため、体位測定・嘱託医診断、歯科健診、尿検査を行います。						
	運動・感覚	様々な遊びや活動を通して、粗大運動や手先の巧緻性等の向上を図ります。感覚遊び等を通じて、様々な感覚を刺激し、身体のイメージづくりや操作性の向上を促します。作業療法士等とも連携しながら支援していきます。						
	認知・行動	数やひらがな等の文字に自然に触れる機会を持ちます。絵カード等を活用しながらスケジュールを提示し、こどもが生活の流れを理解し、自ら行動できるよう支援します。こどもが情報を正しく受け取れるように、刺激を整理し、環境の調整を行います。						
	言語 コミュニケーション	コミュニケーションの土台となる人と関わる心地よさや楽しさを感じられるように支援していきます。言葉や身振り、絵カード等の視覚的な手がかりも含め、こどもが「わかる」、「思いが伝わった」と感じられるような支援をしていきます。						
	人間関係 社会性	こどもの発達段階や行動特性に配慮した環境の中で、友達や職員と一緒に様々な遊びを経験していきます。その中で、集団生活のルールを知り、物事を達成することの満足感や友達や職員と楽しさを共有する経験を積んでいけるよう支援します。						
家族支援			連絡帳や保護者面談（家庭訪問を含む）、親子行事等を通じて、保護者の方と一緒にこどもの適切な支援について考えていきます。	移行支援		併用している他機関および移行する他機関との連携を図ります。		
地域支援・地域連携			相談支援事業所との連携、交流保育の実施、近隣各機関との連携 こども子育て会議や教育支援委員会への参加、研修会の実施	職員の質の向上		職場内研修の実施、施設外研修への参加、オンラインセミナーの活用		
主な行事等			入所式、誕生会、避難訓練、療育参観・親子行事、保護者懇談会、七夕のつどい、親子遠足、おもちゃライブラリー、運動会、施設研修、講習会、おたのしみ会、豆まきのつどい、お別れ会、修了式					